

### 放射性同位元素密封線源を内蔵したイオン化式スポット型煙感知器の誤廃棄に関する原子力規制委員会による評価結果のご報告

平成30年4月27日、当社のホームページにて、イオン化式スポット型感知器を一般産業廃棄物と混在して誤廃棄した件について報告いたしました。令和元年5月21日、原子力規制委員会により、INES（国際原子力・放射線事象評価尺度）のレベルが「レベル0（安全上重要でない）」とするとの評価を受けましたので、下記のとおり報告いたします。

本件では、お客様ならびに関係各位にご心配、ご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。今後全社を挙げて再発防止に努めてまいります。

#### 記

下表に示すとおり、当社によるこれまでの原因調査報告および対策が妥当と評価され、INES評価が行われた結果、レベル0の「安全上重要でない事象」と評価されました。

#### 原子力規制委員会の評価結果（転載）

報告日	件名（施設名）	事象概要	INES レベル	INES レベルの根拠
平成30年 4月27日	放射性同位元素の所在 不明 (能美防災株式会社)	RI（アメリカシウム241）を装備した火災感知器（イオン感知器）を廃棄する際に、RIを取り外し、許可使用者又は許可廃棄業者へ引き渡すべきところを、RIを装備したまま誤って産業廃棄物処理業者に引き渡された。 RIを装備したイオン感知器とそれ以外の一般機器である感知器を分別する作業を行う分別業務担当者は、法令により規制されるものを扱っている認識がなく、また、この担当者のみが分別作業に関与することとなっており、管理体制が不十分であった。 今回の所在不明案件を受け、イオン感知器取扱部所向けRI教育を毎年継続して実施することとし、また、業務手順を見直し、イオン感知器の出庫前に対象品明細書上で分別を実施し、その結果を別の者が確認するとともに、RIを装備したイオン感知器の在庫管理は専用エリアにて行うことにより、一般機器との混在が生じないようにした。 本件については、発生の経緯及び再発防止策の実施状況について、同社への立入検査により確認した。	0	[人と環境への影響評価] 環境への大規模な放出はなく、また、個人への有意な被ばくの報告はないため、レベル0と評価。 [深層防護への影響評価] 所在不明となったアメリカシウム241の放射エネルギー（A値：18.2MBq）と、当該核種の安全かつ確実に管理されなければ重大な確定的影響を引き起こす可能性がある放射エネルギー（D値：60GBq）の比（A/D比）は $3.03 \times 10^{-4}$ であり、0.01未満であることから、レベル0と評価。 [INES評価値] 以上より当該線源に係る事象はレベル0と評価。

以上

お問い合わせ先  
能美防災株式会社 広報室  
室長 関口浩幸、担当 塩見裕  
電話：03-3265-0230（広報室直通）